

168	(エレベータ)	作業者がエレベーターの点検中、扉を閉めて作業を行ったことによりエレベーターが動き出し、エレベーターとカウンターウェイトに挟まれて死亡する。
169	(ゴンドラ)	作業員がゴンドラの定期自主点検に行く際に、タラップを踏み外して墜落死する。
170	(高所作業車)	高所作業車を用いたビル外面の保守作業において、アウトリガーの張り出しが不十分だったため車両が横転し、バケットの作業者が墜落して全身を強打する。
171	(脚立)	作業者が、階段の電球の交換のため、階段に脚立を設置し作業をしたところ、バランスを崩して転落し、打撲する。
172	(脚立)	作業者が蛍光灯の取り替え中に、脚立の天板上でバランスを崩して仰向けに転落し、頭部を強打する。
173	(はしご)	作業者が車寄せのひさしの排水溝を点検中、はしごが横転して墜落し、頭部を強打する。
174	(はしご)	作業者がポンプの点検中、伸縮型はしごの止め金具のロックが外れて墜落し頭部を強打する。
175	(照明器具)	作業者が照明器具の移設作業中、停電作業を行わずにペンチを使用して電灯線を切断して感電する。
176	(照明器具)	作業者が照明器具の移設作業中、低圧用ゴム手袋を使用せずに作業をして感電する。
177	(害虫防除)	ねずみ・害虫防除作業に際し、作業者の装着していた保護具の気密性が損なわれていたため、防除薬剤で中毒になる。
178	(巡回)	作業者が、点検のため機械室に入室するとき、照明が点灯する前に足を踏み出したため、トレーチングのない部分に踏み外し、骨折する。
179	(巡回)	作業者が、点検のためフローリング床の場内に入ったとき、靴下を履いていたため、足を滑らせ転倒し、打撲する。

警備防災

No	(キーワード)	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害の例
180	(巡回)	警備員が、夜間の巡回をしているとき、足元が暗かったので、階段を踏み外して転落し、足を骨折する。
181	(巡回)	警備員がスタジアムの巡回中、階段の踊り場が濡れていたため、足を滑らせて転倒し、頭部を強打する。
182	(巡回)	警備員が、冬期間、屋外の夜間巡回をしているとき、地面が凍結していたため滑って転倒し、氷結路面で打撲する。
183	(巡回)	警備員が階段を上がる時、段差につまずき転倒しそうになり、左足で踏ん張ったため足の筋を痛める。
184	(巡回)	警備員が、夜間の見廻中、屋外の鉄製の非常階段を下りている時に足を滑らせて転落し、全身を強打する。
185	(巡回)	警備員が、夜間のトラックターミナルにおいて巡回中、倉庫の荷物積み下ろしホームより転落し、頭部を骨折する。
186	(駐車場)	タワーパーキングのターンテーブル操作中、車両の先端部がテーブルからせり出していたため、他車の誘導をしていた警備員に接触する。